

講義名	経営管理論 A			授業形態	
担当教員	岡村 俊一郎	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

企業における経営管理の位置づけと、その主要な活動内容について考えます。「ヒト・モノ・カネ・情報」といった経営資源を個人や組織の成果に結びつけるための効果的なマネジメントについて個人や組織、戦略などいくつかのトピックに区切りながら、それらを考える基礎となる理論や考え方、管理手法を概説します。また、企業事例を取り上げながら、学んだことが実際にどう使われているのかについても理解を深めます。

到達目標

- (1) 経営学の主要領域である「経営管理論」の基礎知識を身につけられるようになる。
- (2) 就活、そして就職後も役立つ実践的理論を習得できるようになる。

提出課題

- ・授業内で、その日の内容に関する小テストを実施します。
- ・複数回の授業内容と関連づけたレポート課題を提示します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内の小テストについては、授業内にて解答の提示と補足解説を行います。レポート課題については、授業にて全体の講評を行います。

評価の基準

- 小テスト 20%
レポート課題 20%
定期試験 60%
- (詳細については、別途案内します)
- ・学割の通り、6回以上の講義欠席は、自動的に「放棄」として評価を確定します。
 - ・登学停止や欠次に該当する場合は、大学が定めた手続きを行った場合のみ配慮する。

履修にあたっての注意・助言他

他の受講生の迷惑となる行為は厳禁とします。
また、日々の企業や経済に関わるニュースにアンテナを張って情報収集すること。

教科書	『経営管理論』..	上野恭裕・馬場大治	中央経済社	2640	978450219061
-----	-----------	-----------	-------	------	--------------

参考図書

その他

授業計画

- 第1回 経営管理論Aで学ぶこと：講義ガイダンス、管理過程論
- 第2回 企業・株式会社とは：企業と会社、トップ・マネジメントの構造、所有・経営・支配
- 第3回 古典的管理論：科学的管理法、人間関係論
- 第4回 近代管理論：組織の成立要件、組織論、限定された合理性
- 第5回 モティベーション：実体理論、プロセス理論、モチベーションを高めるマネジメント
- 第6回 リーダーシップ：管理とリーダーシップ、リーダーシップの基本理論
- 第7回 組織構造のマネジメント：分業と調整、組織形態
- 第8回 組織文化のマネジメント：文化の機能と逆機能、文化の形成と変革
- 第9回 経営組織の環境適応：「システムとしての組織」観、コンティンジェンシー理論
- 第10回 企業戦略のマネジメント：経営戦略、ドメイン、多角化
- 第11回 競争戦略のマネジメント：ポジショニングと経営資源、持続的競争優位、組織能力
- 第12回 イノベーション・マネジメント：イノベーションの種類とその源泉、イノベーションを促すマネジメント
- 第13回 生産活動のマネジメント：品質管理、生産の仕組み、トヨタ生産方式
- 第14回 日本の経営：「三種の神器」論、日本商習慣レポート、ガバナンス
- 第15回 全体のまとめと補足解説：経営管理論Aの全体像の再整理

定期試験

- ・第1回～第12回は、教科書と同じ番号の章に対応している。例外的に、第13回は教科書の第14章、第14回は教科書の第13章・第15章に対応している。
- ・第15回は全体のまとめであり、教科書の特定の章に沿って進めるわけではない。
- ・基本的に、各回の授業は教科書の内容に沿って進行する。一部、内容を省略したり、別の内容を追加したりするが、それらについては別途案内する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- < 予習 >
- ・講義資料および教科書を通読し、その授業回の主トピック、キーワードの確認： 30分程度。
 - ・時事的な経済・経営ニュースの確認と関心のあるトピックの確認： 90分程度
- < 復習 >
- ・講義資料の内容の教科書や参考文献、各種Webサイトなどを参照しながらの詳細の補完。
 - ・各種メディアでの企業経営に関する報道やニュースの確認
 - ・講義で学んだことが実際の企業経営や自身の職業生活にどのように役立つのかを考えること。
- 120分程度。

レポート課題に関連する取り組みに合わせて30時間程度を要する。総合すると、授業全体として60時間程度の準備学習を想定している。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「企業経営や組織、業界動向を理解するための基礎知識・経営理論の習得」と、「それら知識・理論を使った現状分析の実施」を達成するための科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中の小テスト課題やレポート課題は、オンラインツールを活用して実施。

実務経験の有無及び活用

備考

--